

北海道議会時報

昭和59年第5号

第4回定例会



北海道議会事務局

北海道議会時報第36巻第5号(昭和59年第4回定例会)

(表紙写真説明)

さっぽろ雪まつり

「純白の夢よぶ世界のひろば」をテーマにした第36回さっぽろ雪まつりは、国際的なウインターフェスティバルとして、2月7日から11日まで5日間繰り広げられ、各会場に並ぶ数々の氷雪像が多くの人びとを魅了。

写真は、大通公園会場における

大雪像の「福陵隆恩門」(中国・瀋陽市)

(社団法人 札幌観光協会提供)

……第5号もくじ……

第4回定例会

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	9
意 見 案	11
請 願・陳 情	12

委員会 の 動 き

議会運営委員会	15
常 任 委 員 会	19
特 別 委 員 会	25
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
予算特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	31
10都道府県議会議長会	31

資 料

第4回定例会において議決を経た 条例の公布調	33
---------------------------	----

11・12月のメモ

議 会 日 誌



▶11月

- 5日(月) 総務、厚生、商工労働、農務、建設、農地開発、文教林務各委員会
12日(月) 水産委員会
27日(火) 文教林務委員会

▶12月

- 4日(火) 議会運営委員会
10日(月) 議会運営、各常任、北方領土対策特別、公害対策特別各委員会
11日(火) **(第4回定例会開会)**
議会運営委員会
本会議(会期決定<12日間>、提案説明)
14日(金) 議会運営委員会
本会議(代表質問<2人>)
17日(月) 議会運営委員会
本会議(代表質問<2人>、一般質問<2人>)
18日(火) 議会運営、総務各委員会
本会議(一般質問<4人>)
19日(水) 議会運営委員会
本会議(追加提案説明、一般質問<4人>、予算、決算各特別委員会設置)
予算特別委員会(正副委員長の互選、予算第1・第2分科会設置)、予算第1・第2各分科会(正副委員長の互選)、決算特別委員会(正副委員長の互選)
20日(木) } 予算第1・第2各分科会 (各部所
21日(金) } 管審査)
22日(土) 議会運営、各常任、石炭対策特別、公害対策特別、エネルギー問題調査特別各委員会、予算特別(総括質疑、意見調整)、決算特別各委員会
本会議(各委員長報告、補正予算等可決、追加提案説明、土地利用審査会委員選任同意、選挙管理委員及び同補充員の選挙、意見案2件可決)
(第4回定例会閉会)

第4回定例会

干ばつ被害対策費等総額 576 億 3,400 万円余の補正予算可決

► 風営法施行条例・道空港条例の改正案等可決 ◀

概 要

- ① 干ばつ被害対策等に関する補正予算などを審議する第4回定例会は、12月11日招集され、会期を12月22日までの12日間と決定の後、総額 354 億 4,800 万円余の補正予算等25件が上程され、知事から、提案説明。議案調査のために12月12日から12月13日まで休会した。
- ② 休会あけの12月14日から代表質問に入り、12月17日に代表質問を終え、同日、引き続き一般質問に入った。12月19日、道職員の給与改定などに係る 221 億 8,500 万円余の補正予算などの議案が追加提案され、同日、一般質問を終結し、予算及び決算両特別委員会を設置のうえ、議案の各委員会付託を行い、各委員会付託議案審査のため、12月20日から21日まで2日間休会した。
- ③ 予算特別委員会は、12月19日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置のうえ、20日から補正予算等に対する各部審査に入り、21日にこれを終え、22日に各分科委員長の報告の後、意見調整を行った結果、原案可決と決定した。
- ④ 会期最終日の12月22日は、昭和59年度補正予算等に対する予算特別委員長報告及び各付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも原案可決。

次に、北海道土地利用審査会委員の選任同意案件が追加提案され、知事から説明の後、原案のとおり同意議決。

次いで、選挙管理委員及び同補充員の選挙を行い、議長指名により選出した。

次に、「公立学校非木造建物（ブロック造）の耐力度測定方法の定式化促進に関する要望意見案」ほか1件の意見案を原案可決の後、報告第1号（昭和58年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件）の閉会中継審査並びに閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、報告第1号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来12日目の12月22日午後4時23分閉会した。

- ⑤ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況				計
		原案可決	同意議決	継続審査	報告のみ	
知 事	39	34	1	1	3	39
議 員	2	2	—	—	—	2
計	41	36	1	1	3	41

本 会 議

○12月11日（火） 午前10時20分開議、三土勇議長、昭和59年第4 定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を、本日から12月22日までの12日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第21号及び報告第1号を議題とし、知事から、提出議案に関して説明。

次いで、議案調査のため12月12日から12月13日まで2日間休会することに決定して、午前10時29分散会。

○12月14日（金） 午前10時34分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第21号及び報告第1号を議題とし、代表質問に入り、



遠藤 常二議員(社会)

から、

① 当面する道政上の諸問題に関し、現発展計画の点検結果から見ての問題点、新計画の策

定に当たっての問題意識と新計画への移行のあり方、新計画の基本理念、計画の構想づくりへの所見、新計画における四全総の長期展望作業と既存の大規模プロジェクトとの調整についての考え、人事院勧告における国の姿勢とこれに対する知事の要請行動、人事委員会勧告に対する対処、国際青年年を迎えるに当たっての青年問題に対する施策等の所信と構想、千歳川放水路計画に対する道意見の国への反映、環境影響評価についての実施主体、採用する指針等の概要

② 財政問題に関し、道政運営簡素効率化調査会の報告書で提起された諸課題に対する受けとめの基本的姿勢、道財政運営改善に取り組む60年度の位置づけ、59年度道税収入の今後

の見通し、60年度予算編成に向けての知事の基本的な所信、明年度の厳しい地方財政に対する対応、本道景気の回復促進対策

3. 産業問題に関し、地域産業情報システム基本構想策定調査報告書に対する基本的見解と情報システムを整備する上での課題、既存データベース機関と新しい産業情報システムとの結合対策、産業情報システムの整備方式方向等、日本海地域水産業振興対策協議会の振興計画に対する受けとめと今後の対処、地元要望の強い地域事業に対する見解、北海道農業発展方策の実現を図るための推進体制、農業後継者育成確保のための農業大学校の充実拡大対策

④ 道民生活にかかわる諸問題に関し、高齢者の地域活動に必要な指導者対策、女性指導者養成の必要性、移動老人大学設置の見解、ゲートボールのルールの一本化や競技施設の確保及び公共施設の開放やコート造成の対策、北海道保健医療基本計画における保健婦、助産婦、看護婦確保の目標達成率と未達成のもの今後の取り組み、同計画における保健婦養成施設、入学定員数見直しに対する見解、札幌以外での保健婦養成施設づくりの考え、スパイクタイヤの車粉公害についての現状認識と札幌弁護士会の提言に対する所見、本道の失対事業の現状認識と他府県における実態

⑤ 教育問題に関し、留萌工業高校における電子機械科設置検討や、時代の進展に対応した新しい学科設置検討の考え、検討委員会から報告された職業学科集合型モデル高校の設置構想に対する受けとめと推進策

⑥ 公安問題に関し、今回の風営法改正に係る認識、管理者に対する指導のあり方、指示、立ち入りなどに対する基本的な考え方、少年指導委員や風俗環境浄化協会の活動に対する指導についての基本的な考え方等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時12分休憩、午後1時40分再開。引き続き、代表質問を継続。

佐々木 行雄議員（自民）から、

① 知事の政治姿勢に関し、美幸線など4線について国鉄による営業が廃止された場合における沿線地域の輸送確保についての北海道運



輸交通審議会への諮問のあり方と内容、地方交通線問題に対する基本的な見解、今回の答申に対する所見、今後の廃止対象路線につい

ての北海道運輸交通審議会任せの対処姿勢、審議会の答申内容と地元が作成した第3セクターによる経営計画との相違する理由と根拠、一課一提案に係る事業の実施理由と根拠、道民の福祉充実に対する貢献、教育研究集会の会場使用の承認に当たっての判断及び多額の警備費を要することに対する見解、会場使用を断ることについての見解、教育研究集会の目的に対する見解、教育研究集会の分科会会場として学校施設を使用させることへの見解、警備要請のあった機関、警備の程度と一般道民への影響

② 道開発予算の確保と道財政に関し、開発予算の確保についての決意、北海道開発の基本理念、補助率の縮減と本道開発の推進との関連に対する見解、公共事業費確保についての所信、国の方針に対する知事の姿勢、59年度のマイナスシーリングが道財政へ寄与した程度、60年度のマイナスシーリング実施予定と財政運営上の寄与、道民サービスへの影響と対処並びに道民と道職員の痛み分けについての見解、60年度道税収入の当初見積の適正化と減収補てんの対応策、簡素効率化調査会の提言と予算編成に当たっての具体的な取り入れ、55年度事務事業見直しにおける廃止予定事業で存続している事業の明年度予算の取り扱い、調査会からの事業見直しに係る提言への対応

③ 本道の景気動向に関し、長期低迷の要因と取り組み、国に要望している特別対策実現の見通しと予算措置された場合の執行方針

④ 中小企業対策に関し、中小企業振興資金や特定不況業種特別資金の動向と年末金融の具体的対策、通年雇用奨励金や冬期雇用安定奨励金制度の活用に必要な工事の確保など季節労働者の具体的な雇用安定対策

⑤ 農業問題に関し、今回の減反緩和への評価と今後の対策、減反緩和面積の支庁別配分方

法、他用途利用米の支庁別目標の設定と目的達成のための指導方法、減反緩和面積と他用途利用米作付面積の目標指示の時期

⑥ 水産問題に関し、韓国漁船の我が国漁業水域法適用への取り組み実績、今後の方針及び同法適用決着の見通し、対韓姿勢に対する見解、北転船の減船を推進するに当たっての残存船主に対する金融措置、離職乗組員の再雇用等の問題把握と対処

⑦ 新規学卒就職対策に関し、高卒女子の就職の現状と対策

⑧ 風営法施行上の問題点に関し、新規営業規制に対する見解、営業時間を延長した理由と規制遵守の見通し、少年の立ち入り規制に対する基本方針、法及び条例の厳正な執行についての見解

⑨ 教育問題に関し、プロジェクトチームの報告における教育長期計画策定に対する取り扱い方針と策定の時期、知事側の新計画との整合性、新教育計画の理念及びフレーム、教務主任研修事業の今後の取り扱いと実施されていない理由及び事業予算の取り扱い等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があって知事から答弁。

議案調査のため、12月15日休会することを決定して、午後3時50分延会。

○12月17日（月） 午前10時39分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第21号及び報告第1号を議題とし、代表質問を継続、



工藤 啓二議員(公明)から、

① 財政問題に関し、明年度の予算編成に臨む知事の基本姿勢、財源の確保の対策とその見

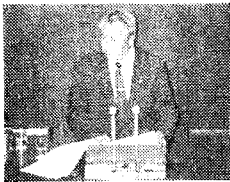
通し、予算編成システムに対する認識、簡素効率化調査会の提言への受けとめと対処

② 中小企業対策に関し、制度資金の融資条件の緩和など弾力的な運用策、当面する年末融資対策、中小企業に対する経営診断指導体制の整備、中小企業育成のための企業のイノベ

ーション促進への取り組み

- ③ 企業誘致に関し、キャブテンシステム等を利用した企業立地の情報提供への取り組み、旭川中核工業団地造成計画に対する道の支援についての見解
- ④ 農業問題に関し、村づくり対策、農地利用調整機構の設置と農地預託銀行制度の創設に対する今後の具体策、明年度の良質米生産への取り組みと具体的営農指導
- ⑤ 冬の暮らしと観光振興に関し、「冬を楽しむ運動」の内容、冬の生活いきいき懇話会からの提言への具体的取り組み、全天候多目的スタジアム建設に対する考え方
- ⑥ 人事委員会勧告に関し、道職員の給与改定についての本年度の取り扱い等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁の後、同議員から再質問があって知事から答弁。次いで、



大野 新生議員（道政）

から、

- ① 60年度予算編成にかかわる諸問題に関し、長期的な視点に立った経済自立化対策と明年度

予算での措置、国の高率補助金の一律カット等に対する対処方針、明年度道予算編成に際しての基本方針と重点施策、知事公約の達成率と明年度予算編成における公約への取り組み、行政改革に取り組む基本姿勢及び明年度予算に向けての取り組み方、簡素効率化調査会からの提言の受けとめ方と取り組み、行政改革推進のための職員団体との話し合いの状況、明年度予算編成にかかわる事項についての職員団体と話し合う考え

- ② エネルギー問題に関し、地熱の活用対策、放射性廃棄物の安全技術開発の現状把握のための現地視察をする考え
- ③ 農業問題に関し、他用途利用米の食用米への流用等の実情に対する受けとめ、中国向けの乳牛輸出に対する認識と取り組み及び輸出検疫の衛生条件
- ④ 教育問題に関し、3定における教育長答弁に関連した北教組の校長交渉項目及び道教委としての指導の有無、校長交渉の範囲に対す

る見解等について

質問があり、知事及び教育長から答弁の後、同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。中川隆之議員（道政）から議事進行発言があり、議事進行の都合により、午後零時47分休憩、午後2時5分再開。知事から大野新生議員（道政）の再質問に対し補足答弁。同議員から要望発言。次いで、一般質問に入り、

久田 恭弘議員（自民） から、

- 住宅都市行政に関し、公営住宅建てかえ対象戸数、今後の実施計画、建てかえの基準を緩和する考え、任意建てかえ事業促進のための道営住宅建設に対する所見、モデル住宅の建設と市町村に対する指導指針を確立することへの所見と今後の対処方針、高齢者住宅建設に対する所見、道営福祉住宅建設のあり方、老人向け既設公営住宅の改善方針、建設指導センターの住宅相談窓口を設置する考え、住宅性能保証制度についての認識と道民への周知方、同制度の普及指導と利用促進のための性能保証住宅普及機構の育成強化策、持家建設資金の貸付制度の中での割増し融資の措置、道道小樽臨港線建設工事の完成期限と全体事業の完成年度、本年度施行予定の臨港線街路・公害防止・公共下水道各事業の完工見通し、運河底へのマット敷設事業の年度内完了見込み、臨港線北側のヘドロ処理についての国への要請、小樽活性化委員会に対し小樽市都市整備計画などの諸調査・計画等の資料の有効活用について指導する考え等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があって、知事から答弁。次いで、

三沢 道男議員（社会） から、

- 農業問題に関し、北海道農業の特徴、農業の担い手の現状、農地の移動に対する見解と対策及び方針、農業の技術革新に対する見解、農業の担い手の資質向上と組織の再編統合等の対策、農業保証制度の充実と農地取得における保証制度の適用に対する見解等について

質問があり、知事から答弁。午後3時17分延会。

○12月18日（火） 午前10時45分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第21号及び報告第1号を議題とし、一般質問を継続、

木戸浦 隆一議員（自民）から、

- ① 総合交通体系に関し、高速自動車道の整備、青函トンネルの有効活用方策とこれと関連する電気機関車基地、青函連絡船の取り扱い、北海道新幹線の段階的整備、航空交通の整備に関する基本的姿勢
- ② 小売商業の振興に関し、コミュニティー・マート構想モデル事業についての見解
- ③ 国際社会への対応と青少年の健全育成に関し、国際交流施設の建設、国際交流団体への道の支援に関する基本姿勢、青年の家や少年自然の家などの建設と国際社会に対応する青少年の育成、旧函館稜北高校校舎の跡利用等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁の後、議事進行の都合により、午前11時39分休憩、午後1時37分再開。次いで、

小田部 善治議員（自民）から、

- ① 観光振興に関し、温泉観光地の活性化対策、道東地域の観光誘致対策、広域観光ルートの整備、北海道観光振興公社の設立
- ② 漁業振興に関し、栽培漁業の現状と今後の方向、日本海地域の漁業振興、気象衛星による漁業情報システム、沿海の主要な海域についての環境あるいは生物などの調査、海底図の作成、漁家負債対策、太平洋小型及び中型サケ・マス流し網漁業の経営安定のための金融対策、制度資金の改善強化等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があり、知事から答弁。次いで、

平井 進議員（自民）から、

- ① 市町村振興補助金、振興基金に関し、枠の拡大、振興補助金の1団体1事業の弾力的運用、振興基金の貸付期間の延長
- ② 北方領土と訪ソに関し、訪ソした場合の北方領土問題に対する所信
- ③ 冬期日米共同訓練に関し、共同訓練に対する認識、反対行動に対する見解等について

質問があり、知事から答弁。同議員から要望発言の後、議事進行の都合により午後2時27分休憩、午後3時43分再開。次いで、

山口 真人議員（自民）から、

① 労働行政に関し、雇用保険の不正受給の件数、金額、態様、不正受給の発見の端緒、不正受給率の高い原因、今後の不正受給防止策、労働保険事務組合の設置状況、労働保険料の徴収や納付に關しての事務組合に対する指導監督と保険料の納付状況、北海道社会労働保険協会の保険料の滞納問題と今後の対処策、労働保険事務組合制度の運営についての対応など知事の決意

② 石狩湾新港開発に関し、開発基本計画に対する開発の現況と今後の対処、土地利用計画、新川公園と保留地の工業用地への転換についての検討経過と今後の対処、石狩湾新港管理組合の庁舎建設、樽川埠頭通りの整備の見通し、石狩開発株式会社の経営安定のための対応策と今後の指導等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、同議員から再々質問、知事から答弁の後、午後4時28分延会。

○12月19日（水） 午前10時29分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第22号ないし第34号を議題とし、知事から提案説明の後、

日程第1にあわせ、

日程第2 議案第1号ないし第21号及び報告第1号を一括議題とし、一般質問を継続、

伊達 忠一議員（道政）から、

① 本道の経済情勢とその対策に関し、景気浮揚についての所見、倒産関連資金制度の活用、融資制度の金利水準と臨機応変の措置、信用保証協会の代位弁済と道の対応

② 地域の均衡ある発展に関し、拠点分散主義についての見解、人口移動の政策誘導、産業構造の高度化対策

③ エネルギー問題に関し、天然ガス連絡協議会設置の理由、需給事情などの状況変化、天然ガス導入の可能性の有無、サハリンの天然ガス導入に対する所見、炭田ガスの開発

④ 教育問題に関し、教頭昇任選考試験対象者の推薦に当たっての北教組と市町村教育委員会や学校長との交渉事実、教頭昇任候補者選考の資格要件と今年度の受験者数、組合の教

頭候補者不適格基準による影響の有無、不適格基準によって受験できなかった事実が明らかの場合の回復措置、長期欠勤者及び休職者の数とその原因となっている疾病の内訳、教職復帰への指導等について

質問があり、知事及び教育長から答弁、同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。次いで、

相沢 武彦議員（公明）から、

- 教育問題に関し、今日の教育の認識、今後の具体的な方策と道の体制、高等教育の基本的な取り組み、魅力的な教職員づくりに向けての具体的方策、高校における人づくりに向けての取り組み、情操教育における伝統文化の反映と今後の取り組み、高校定時制課程の現状認識、私学の現状認識、私立高校を取り巻く経営環境、中卒者急増期における私立高校に対する施設整備などの助成、高校における職業教育についての認識と今後の方策、北海道生涯教育推進会議の審議経過と同会議の最終報告を受けての施策の反映、国際化時代に対応する英語以外の外国語を習得させることの必要性、国際人づくりの取り組み等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁の後、議事進行の都合により、午後零時41分休憩、午後2時20分再開。次いで、

青山 章議員（自民）から、

- 農業団体についての諸問題に関し、小規模農協や併立農協の実態、北農中央会策定の強化指標における適正規模組合数、合併が進まない理由とその隘路、これまでの合併指導の取り組み、経営不振農協の実態、今後の農協合併推進方策、農業共済組合の合併の推移と今後の合併推進方策、小規模な土地改良区の数、同一市町村内に複数ある土地改良区の数と市町村数、土地改良区の統合合併の考えと取り進めの方針、合併の指針設定等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。次いで、

大橋 晃議員（共産）から、

- 道民生活と開発問題に関し、苦東開発マスタープランの目標年次、第三段階計画のアセ

スメントの基礎となる業種、次期段階計画案の立地想定業種と規模、人事委員会勧告の完全実施について国への抗議、人勅制度の本旨に立ち返る完全実施についての所見、私学への助成対策等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁があって、質疑並びに質問を終結。次いで、

工藤啓二議員（公明）から、予算及び決算に関する案件について、本議会に31人の委員をもって構成する予算特別委員会及び27人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、議案第1号ないし第6号及び第22号ないし第33号は予算特別委員会に、報告第1号は決算特別委員会に、それぞれ付託の上、審査されたい旨の動議を提出、賛成があつて動議成立、これを諮って異議なく可決。動議に係わる各案件は、両特別委員会に付託の上、次の委員（配付名簿のとおり）を議長指名により選任。次いで、議案第10号は公害対策特別委員会に付託することを異議なく決定。残余の案件については、議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した後、各委員会付託議案審査のため12月20日から12月21日まで休会することに決定して、午後3時28分散会。

○予算特別委員（31人）

大野 新生（道政）	伊達 忠一（道政）
生駒 隆介（自民）	今津 寛（自民）
大野 忠義（自民）	神戸 典臣（自民）
木戸蒲隆一（自民）	伊藤 武一（公明）
大島 一郎（社会）	大平 盛雄（社会）
高橋 庸（社会）	谷川 英雅（社会）
樫林 巖（社会）	神本 三也（社会）
湯佐 利夫（自民）	綿貫 健輔（自民）
小田部善治（自民）	木本 由孝（自民）
桜井 外治（自民）	佐々木行雄（自民）
土屋 良三（自民）	松崎 義雄（自民）
青山 正男（自民）	宇川 源吉（自民）
柳谷 正一（公明）	関根 建二（社会）
萩上 元春（社会）	舟山 広治（社会）
吉田 英治（社会）	笹浪 幸男（自民）
若狭 靖（自民）	

○決算特別委員（27人）

伊達 忠一（道政）	今津 寛（自民）
小野寺 勇（自民）	神戸 典臣（自民）
木戸浦隆一（自民）	国本 康夫（自民）
出村 勝彦（自民）	増井貞一郎（自民）
浅野 俊一（公明）	大平 盛雄（社会）
三沢 道男（社会）	一野坪 勉（社会）
工藤 啓二（公明）	中川 隆之（道政）
伊藤 弘（自民）	木本 由孝（自民）
松崎 義雄（自民）	山口 真人（自民）
川口 常人（自民）	寺崎 政朝（自民）
吉野 之雄（社会）	輪島 幸雄（社会）
舟山 広治（社会）	保格 博夫（社会）
湯本 芳志（社会）	古川 靖晃（自民）
和田 勝之（自民）	

○12月22日（土） 午後3時51分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第34号を議題とし、

吉田英治予算特別委員長（社会）から、議案第1号ないし第6号及び第22号ないし第33号について

川口常人総務委員長（自民）から、議案第7号ないし第9号、第14号、第16号及び第21号について

佐々木行雄公害対策特別委員長（自民）から、議案第10号について

星野健三厚生委員長（社会）から、議案第11号について

古川靖晃建設委員長（自民）から、議案第12号及び第17号ないし第19号について

岩田徳弥文教林務委員長（自民）から、議案第13号、第20号及び第34号について

湯本芳志商工労働委員長（社会）から、議案第15号について

それぞれ各委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、大橋 晃 議員（共産）から、議案第1号、第14号、第17号、第19号、第22号ないし第34号に関する反対討論があって討論終結。

次いで、採決に入り、日程第1のうち、議案第1号、第14号、第17号、第19号及び第22号ないし第34号を問題とし、起立採決の結果、起立

多数（共産反対）をもって、いずれも委員長報告のとおり、すべて原案可決。次に、議案第2号ないし第13号、第15号、第16号、第18号、第20号及び第21号を問題とし、いずれも委員長報告のとおり、すべて原案可決。

日程第2 議案第35号を議題とし、知事から追加提案説明の後、委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり同意議決。次に、

日程第3 選挙管理委員及び同補充員の選挙に入り、まず、選挙の方法についてはかり、異議なく指名推選の方法によることに決定。次に、指名の方法についてはかり、異議なく議長指名により行うことに決定の後、直ちに議長から委員及び補充員の指名を行い、議長指名のとおり当選人及び補充員の補充の順位を決定。次に、

日程第4 意見案第1号及び第2号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、いずれも異議なく原案のとおり可決。次いで、

閉会中報告第1号継続審査の件について、決算特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査に付することに決定。次に、

閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに関係特別委員から申し出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件は、報告第1号を除きすべて議了。三上勇議長から、閉会に当たってのあいさつがあって、午後4時23分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、去る19日設置され、昭和59年度各会計補正予算及びこれに関連する議案4件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、審査の方法等について協議の結果、各所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに二つの分科会を設置し、それぞれの案件を付託いたし

ました次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長
の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に関
根建二君、副委員長に木戸浦隆一君、第2分科会
は、委員長に木本由孝君、副委員長に神本三也君
を選任するとともに、審査の方法等について協議
を行い、20日から各部所管の審査に入り、昨21日
をもって各分科会の一切の質疑を終了し、本日の
委員会において各分科委員長より分科会における
審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託されました案件は、干ばつ被害対策に
要する経費のほか、道職員の給与改定等について
所要の措置を講じようとするものであり、その総
額は、一般会計及び特別会計を合せ576億3,400万
円余に及ぶ補正予算並びにこれに関連する議案で
ありまして、これらの案件を中心に道政各般にわ
たり質疑が行われた次第であります。

なお、各分科会において論議の対象となりました
主な事項につきましては、別紙お手元に配付の
報告書により御承知願いたいと存じます。

質疑終結後、各会派代表者間におきまして、各
案件について意見の調整を図りました結果、いず
れも意見の一致を見、先ほどの委員会におきまし
て、全会一致、議案第1号ないし第6号及び第22
号ないし第33号は、原案可決と決定した次第であ
ります。

なお、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すな
わち、国鉄地方交通線問題は、地域住民の生活や
産業経済活動にきわめて大きな影響を及ぼすの
で、道議会や関係市町村等との連携をさらに深
め、地域における交通の円滑な確保が図られるよ
う、道は最善の努力をすべきである。

という附帯意見を付されたいとの動議が提出さ
れ、全会一致、これを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経
過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位
におかれましては、短期日にもかかわりませず、
慎重かつ御熱心に審議を尽くされ、その御労苦に
対し、衷心より敬意を表し、私の報告を終りま
す。

第4回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
12. 11	1	昭和59年度北海道一般会計補正予算（第5号）	予算特別	12. 22	原案可決
同	2	昭和59年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	3	昭和59年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	4	昭和59年度北海道病院事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	5	昭和59年度北海道有林野事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	6	昭和59年度北海道北広島団地開発事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	7	札幌医科大学附属病院使用料条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	8	北海道職員等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	9	北海道行政財産使用料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	10	水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づく排水基準を定める条例の一部を改正する条例案	公害対策 特 別	同	同
同	11	北海道心身障害者扶養共済制度条例の一部を改正する条例案	厚 生	同	同
同	12	北海道空港条例の一部を改正する条例案	建 設	同	同
同	13	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	14	風俗営業等取締法施行条例等の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	15	北海道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	16	北海道陸運事務所設置条例を廃止する条例案	総 務	同	同
同	17	都市公園事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	同	同
同	18	北海道道の路線の認定、廃止及び変更に関する件	同	同	同
同	19	忠別ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件	同	同	同
同	20	財産の取得（土地、北海道上士幌高等学校建設用地）に関する件	文教林務	同	同
同	21	財産の処分（土地、河西郡芽室町東3条4丁目1番ほか3筆）に関する件	総 務	同	同
12. 19	22	昭和59年度北海道一般会計補正予算（第6号）	予算特別	同	同
同	23	昭和59年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	24	昭和59年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	25	昭和59年度北海道公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	26	昭和59年度北海道病院事業会計補正予算（第3号）	同	同	同
同	27	昭和59年度北海道有林野事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	28	昭和59年度北海道電気事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	29	昭和59年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	30	北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	31	北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	32	市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
12. 19	33	北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	12. 22	原案可決
同	34	北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
12. 22	35	北海道土地利用審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決

報 告

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
12. 11	1	昭和58年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	12. 22	継続審査
同	2	昭和58年度北海道市町村振興基金の運用に関する件			報告のみ
同	3	昭和58年度北海道土地開発基金の運用に関する件			同
同	4	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、11月15日4件専決処分）			同

第4回定例会において議員から提出のあった案件

意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
12. 22	1	公立学校非木造建物（ブロック造）の耐力度測定方法の定式化促進に関する要望意見書	岩田徳弥議員ほか13人	12. 22	原案可決	文教林務
同	2	児童手当利度の改正に関する要望意見書	星野建三議員ほか12人	同	同	厚生

注 備考欄は提出者の所属委員会等を示す。

意見案

意見案第1号

(昭和59年 4 定
岩田徳弥議員ほか13人提出<文林>
昭和59年12月22日 原案可決)

公立学校非木造建物（ブロック造）の耐力度測定方法の 定式化促進に関する要望意見書

国は、公立学校木造危険物の改築に当たって、耐力度調査が容易にできるよう昭和33年度から耐力度測定方法の定式化を行い、これが木造校舎等の改築整備促進に大きく寄与してきている。

また、昭和58年度から、非木造建物のうち、鉄筋コンクリート及び鉄骨造の耐力度測定方法については、木造と同様に測定方法の定式化を行い、非木造建物の整備が容易になっている。

しかし、非木造建物のうち、ブロック造については、未だ測定方法が定式化されていないが、本道においては、約34万平方メートルにおよぶブロック造の建物があり、今後、計画的な整備を要するので、その促進のため、ブロック造の建物についても耐力度測定方法の定式化を早期に図られるよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
文部大臣、自治大臣 }

意見案第2号

(昭和59年 4 定
星野健三議員ほか12人提出<厚生>
昭和59年12月22日 原案可決)

児童手当制度の改正に関する要望意見書

先般、児童手当制度の見直しに関する中央児童福祉審議会の意見書が、厚生大臣に提出された。

それによると、支給対象を第3子から第2子に広げようとすることは、一步前進といえる。

しかし、一方で支給対象期間を、現行の義務教育終了時から乳幼児期に引き下げるとは、制度そのものの後退を招くこととなる。

この制度は、次代を担う児童の健全育成などを目的として創設されているものであり、本意見書に基く制度改正は、児童の養育を図るという趣旨に反するものといわざるを得ない。

よって、国においては、先の提言にこだわることなく、今後児童手当の一層の充実に向けて取り組まれることを強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、厚生大臣 各通

請 願 ・ 陳 情

① 第4回定例会において各常任委員会に付託されたもの。

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審査の 結 果
59	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるため、私学助成の拡充を求める件	北海道私学助成をすすめる会 代表 亀貝 一義 ほか1人	文教林務	継続審査
60	無認可保育所への助成に関する件	全道無認可保育所連絡会 代表者 高堰 静江	厚生	同
61	江差労働基準監督署の廃止計画案の撤回に関する件	江差労働基準協会 会長 加賀谷喜太郎 ほか3人	商工労働	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審査の 結 果
19	非木造校舎（ブロック造）の危険改築制度の創設と銭函小学校の改築に関する件	銭函小学校改築期成会準備委 員会代表 銭函小学校PTA会長 六条 祐二ほか7人	文教林務	継続審査
20	非木造校舎（ブロック造）の危険改築に関する件（外2件）	北海道小学校長会 会長 石川 俊男	同	同

② 継続審査中のものであって、第4回定例会において採否の決定があったもの。

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付託委員会	審査の結果
9	軍人・軍属恩給欠格者の早期救済に関する件	軍人軍属恩欠者全国連盟 北海道連合会 会長 岡川 文雄	厚生	取 下 げ

③ 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
5	北海道を核戦場にさせないための件	総 務
12	登別市に警察署設置の件	同
14	平和に関する件	同
21	個人事業税に「みなし法人課税（事業主報酬）制度」の適用に関する件	同
22	「非核・平和北海道宣言」を求める件	同
25	獣医師の待遇等改善に関する件	同
46	北海道の気象事業整備拡充を求める件	同
52	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	同
6	老人医療に関する諸施策の拡充を求める件	厚生

文書表 番 号	件 名	付託委員会
9	灯油元売価格の値下げなどを求める件	厚 生
15	老人医療と諸施策の拡充を求める件	同
16	老人医療に関する件	同
18	灯油値下げに関する件	同
29	道民負担増、大企業優遇に反対し、くらしを守る59年度予算を求める件	同
54	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	同
55	精神障害者福祉法制定のための国会要請を求める件	同
57	軍人軍属恩給欠者の処遇に関する件	同
8	灯油元売価格の値下げなどを求める件	商工労働
17	灯油値下げに関する件	同
27	建設・季節労働者の雇用安定に関する件	同
30	道民負担増、大企業優遇に反対し、くらしを守る59年度予算を求める件	同
34	母性保護を拡充し、実効ある男女雇用平等法を制定するよう国に意見書の提出を求める件	同
39	男女雇用平等法の制定に関する件	同
40	「私たちの求める男女雇用平等法の法制化を実現するよう」国に意見書の提出を求める件	同
45	広尾町の中小企業と、季節労働者のくらしと営業を守るために、適切な施策を求める件	同
51	対ソ貿易の振興についての件	同
53	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	同
13	本道水田等農家の抜本的負債対策を実現し、冷害対策強化に関する件	農 務
41	北海道農業の基盤確立と水田復元対策推進に関する件	同
32	道民負担増、大企業優遇に反対し、くらしを守る59年度予算を求める件	建 設
44	広尾町の中小企業と、季節労働者のくらしと営業を守るために適切な施策を求める件	同
47	道営住宅若竹団地3号棟に物置を求める件	同
58	暖房料の値上げ撤回と利用者の立場に立った熱供給事業の確立に関する件	同
48	水産問題に関する件	水 産
56	太平洋海域におけるアカイカ流網漁業の実現に関する件	同
2	北海道立札幌中島体育センター別館を早期改修し弓道専用道場の併設を求める件	文教林務
3	北海道立武道館の建設を促進し専用弓道場の併設を求める件	同
7	子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	同
19	公立高校の増設等に関する件	同
23	(仮称)「雨竜地区高等養護学校」の収容定員等に関する件	同
24	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるための大幅私学助成を求める件	同
33	道民負担増、大企業優遇に反対し、くらしを守る59年度予算を求める件	石炭対策特別
49	原子力関連施設誘致実現に関する件	エネルギー問題調査特別
50	幌延町への核廃棄物施設設置に反対する件	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
6	「大型間接税導入と申告納税制度の改正に反対し、3兆円減税を要求する意見書」決議の件	総 務
7	指名競争入札執行の自粛の件	同
17	少額貯蓄非課税割度の見直しに関する件	同
18	外国人登録法の改正要請方に関する件	同
2	社会福祉法人釧路まりも学園の運営に関する件	厚 生
4	医療保険制度の改悪に反対し、住民の健康を守る決議に関する件	同
5	老人医療の無料制度を復活・拡充し、老人を医療から締め出す老人診療報酬体系等の即時撤廃を求める決議に関する件	同
11	医療保険の抜本改悪に反対し、その充実改善を求める決議に関する件	同
14	自閉症収容施設建設場所の移転に関する件	同
15	医療保険制度改定に反対する決議に関する件	同
16	アイヌ民族に関する法律制定に関する件	同
3	サラ金利用者のサラ金苦による悲劇の根絶及び住民保護に関する件	商工労働
10	一級河川十勝川水系札内川第二札内橋架橋促進に関する件	建 設
12	小樽運河を埋め立てる道道臨港線計画の見直しに関する件	同
13	小樽運河を埋め立てる道道臨港線計画の見直しに関する件	文教林務

委員会の動き

議会運営委員会

○12月4日（火） 午後2時14分、議会運営委員会室において開議、午後2時17分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 第4回定例会の招集期日を12月11日とすることを異議なく了承。会期は12日間とすることに決定。
- ② 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 第4回定例会の日程について、次のとおり取り進めることに決定。

▽ 第4回定例会日程

12月11日	本会議（提案説明）
12日・13日	休 会
14日	本会議（代表質問）
15日	本会議（代表・一般質問）
16日	休 会
17日	本会議（一般質問）
18日	本会議（一般質問、予算・決算特別委員会設置）
19日～21日	休 会
22日	本会議

- ④ 代表質問について、順位は、社会、自民、公明、道政の順とすることを了承。通告は、12月12日正午までとすることを決定。
- ⑤ 一般質問について、順位は従来の例により取り進めることとし、十分比による10番目については、自民と公明とが同率となり両会派間において調整することとし、調整結果については後日報告することを了承。通告については、12月13日正午までに提出することを決定。
- ⑥ 議長から、北海道選挙管理委員及び同補充員の選挙について発言の後、本件の取り扱い

について後日協議することを了承。

○12月10日（月） 午後2時10分、議会運営委員会室において開議、午後2時16分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、第4回定例会提出案件について説明。
- ② 予算及び決算両特別委員会について、(1)委員会構成及び正副委員長の配分については、配付のとおりとすること(2)委員名簿は、12月15日正午まで提出すること(3)委員会設置動議の提出は、公明が行うことを決定。
- ③ 議案調査のため、12月12日から13日まで休会し、12月14日再開することを決定。
- ④ 12月11日の本会議の議事順序については、当日協議することを決定。

○12月11日（火） 午前9時40分、議会運営委員会室において開議、午前9時45分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 議会運営委員の変更指名について、本日、議長が議会運営委員中田繁夫議員を大内良一議員に変更指名した旨報告。
- ② 委員の変更に伴う委員席の変更について、現在着席のとおりとすることに決定。
- ③ 節食ランチの実施（12月14日）についてはかり、決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（開会）

- | | |
|------|--|
| 日程第1 | 会議録署名議員の指定
諸般の報告 |
| 日程第2 | 会期決定の件（12月11日から12月22日まで12日間） |
| 日程第3 | 議案第1号ないし第21号及び報告第1号
提出議案に関する知事の説明
議案調査のための休会日の決定
（12月12日から12月13日まで） |

○12月14日（金） 午後10時12分、議会運営委員

会室において開議、午前10時
17分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 理事会決定のとおり、12月15日休会し、12月17日再開することを決定。
 - ② 代表質問の通告（4人）について報告。本日2人、明日2人行うことを決定。
 - ③ 一般質問の通告（13人）について報告。順位は12月11日の委員会決定のとおり従前の例によることとし、10番目は自民、公明の両会派間で調整の結果、公明とすることを報告。各派内における順位等に変更ないことを確認。個人別順位について、議事課長説明のとおりとすることに決定。進め方については、17日代表質問終了後2人、18日6人、19日5人とすることに決定。
 - ④ 委員長から、正副農務委員長が、国費予算等に関する中央折衝のため、14日・15日の2日間上京することを報告。
 - ⑤ 香山総務部次長から、佐竹副知事及び総務部長が、明年度予算に関する要請活動のため、本日の本会議を欠席したい旨発言の後、異議なく了承。
 - ⑥ 本日の本会議休会中に節食ランチを実施すること及び節食募金箱を設置することを報告。
 - ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。
- ▽ 議事順序
（諸般の報告）
- 日程第1 議案第1号ないし第21号及び報告第1号
質疑並びに一般質問（代表質問2人）
- 議案調査のための休会日の決定
（12月15日）

○12月17日（月） 午前9時45分、議会運営委員会室において開議、午前9時49分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 警察本部長から、12月14日の本会議における佐々木行雄議員（自民）の代表質問に関する答弁の一部を訂正したい旨議長に申し出が

あったので、本日の本会議においてこれを了承することをはかり、決定。

- ② 本日の本会議について、代表質問2人、一般質問2人とするのを了承。
- ③ 総務部長から、国庫補助負担率引き下げに関する要請活動の状況等について発言。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第21号及び報告第1号
質疑並びに一般質問（代表質問2人、一般質問2人）

○12月18日（火） 午前9時56分、議会運営委員会室において開議、午前9時59分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 香山総務部次長から、佐竹副知事、総務部長及び開発調整部長が、明年度予算に関する要請活動のため、本日の本会議を欠席したい旨発言の後、了承。
- ② 香山総務部次長から、追加提出予定案件について説明の後、12月19日追加提出することを了承。
- ③ 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ④ 本日の本会議について、一般質問5人行うことを決定。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第21号及び報告第1号
質疑並びに一般質問（一般質問5人）

○12月19日（水） 午前9時51分、議会運営委員会室において開議、午前9時59分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 香山総務部次長から、佐竹副知事、総務部

長及び開発調整部長が、引き続き明年度予算に関する要請活動のため、本日の本会議を欠席したい旨発言の後、了承。

- ② 香山総務部次長から、追加提出案件について説明の後、本日の本会議において知事の提案説明を行うことを決定。
- ③ 本日の本会議について、一般質問4人行うことを決定。
- ④ 予算及び決算両特別委員会について、予算特別委員会の各分科委員数については、各会派間の調整の結果、配付のとおり決定した旨報告。両特別委員会の委員の選任について、各会派から提出された名簿のとおり選任することをはかり決定。設置動議について、工藤啓二議員（公明）が提出することを了承。
- ⑤ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑥ 各委員会付託議案審査のため、12月20日から21日まで休会し、12月22日再開することをはかり決定。
- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

- 日程第1 議案第22号ないし第34号
追加提出議案に関する知事の説明
日程第1 議案第22号ないし第34号にあわせ
日程第2 議案第1号ないし第21号及び報告第1号
質疑並びに一般質問（一般質問4人）

（質疑終結宣告）

- 予算及び決算特別委員会設置
- 予算及び決算特別委員の選任
- 議案第10号を公害対策特別委員会に付託することについて簡易採決
- 残余の議案の各委員会付託
各委員会付託議案審査のための休会の決定（12月20日から12月21日まで）

○12月22日（土） 午後2時59分、議会運営委員会室において開議、午後3時

8分散会

委員長 平野 明彦（自民）

開議に先立ち、委員長からアフリカ難民救援募金に関し報告。

- ① 香山総務部次長から、総務部長が、明年度予算に関する要請活動のため、本日の本会議を欠席したい旨発言の後、了承。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。
- ③ 決算特別委員会について審査中の報告第1号は、本日の本会議において継続審査の申し出をすることに決定した旨報告。
- ④ 香山総務部次長から、追加提出案件について説明の後、本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。
- ⑤ 北海道選挙管理委員及び同補充員の選挙について、選挙すべき委員・補充員は各4人、選挙の方法は指名推せんすることとし、指名の方法は議長が指名すること、指名については配付名簿のとおり指名すること及び補充員の委員補充の順位は配付名簿の指名順位によることに決定。
- ⑥ 意見案第1号及び第2号の取り扱いについて、本日の本会議において議決する扱いとすることに決定。

- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

- 日程第1 議案第1号ないし第34号
予算特別、総務、公害対策特別、厚生、建設、文教林務、商工労働各委員長の報告

（討論）

1. 大橋議員の議案第1号、第14号、第17号、第19号及び第22号ないし第34号に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採決）

1. 議案第1号、第14号、第17号、第19号及び第22号ないし第34号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて、起立により採決
（共産反対）

2. 議案第2号ないし第13号、第15号、
第16号、第18号、第20号及び第21号を
問題とし、委員長報告（すべて可決）
のとおり決することに簡易採決

日程第2 議案第35号

追加提出議案に関する知事の説明

（委員会付託省略）

（採決）

1. 本件を原案のとおり同意することに
簡易採決

（議案第35号 北海道土地利用審査会委
員の選任につき同意を求
める件）

日程第3 選挙管理委員及び同補充員の選挙

（選挙すべき選挙管理委員
4人
選挙すべき選挙管理委員
補充員 4人）

1. 選挙の方法は指名推せんによること
について簡易採決
2. 指名の方法は議長において指名する
ことについて簡易採決
- （議長により選挙管理委員、同補充
員を指名）
3. 議長指名のとおり当選人とすること
について簡易採決
4. 補充員の委員補充順位を指名の順位
のとおりとすることについて簡易採決

日程第4 意見案第1号及び第2号

意見案第1号 公立学校非木造
建物（ブロック造）の耐力度
測定方法の定式化促進に関する
要望意見書

意見案第2号 児童手当制度の
改正に関する要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（採決）

1. 本件をいずれも原案のとおり決する
ことについて簡易採決

○閉会中継続審査の件

決算特別委員長から報告第1号につい
て、申し出のとおり閉会中の継続審査

に付することについて簡易採決

○閉会中請願陳情継続審査及び事務調査
の件

各常任委員長並びに関係特別委員長
から申し出のとおり閉会中継続審査
または調査に付することについて簡
易採決

○議長の閉会のあいさつ

○閉会宣告

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

○11月5日（月） 午後1時22分、第5委員会室
において開議、午後1時25分
散会
委員長 川口 常人（自民）

一 般 議 事

- 委員長から、さきに実施した道内調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○12月10日（月） 午前11時18分、第5委員会室
において開議、午後零時28分
散会
委員長 川口 常人（自民）

一 般 議 事

- ① 総務部長及び警察本部総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 開発調整部長から、国鉄第一次特定地方交通線問題に関し、北海道運輸交通審議会の答申内容並びに美幸線、興浜南線、興浜北線及び相生線の輸送転換方策について説明の後、岩本允委員（自民）から、地元市町村及び特定地方交通線対策協議会への対応方法並びに道議会の論議に対する考え方。

美幸線に関し、地元案の評価、バス輸送が確保されるまでの住民の足の確保対策及び第三セクターに対する考え方。

審議会の設置は、知事の責任回避の手段との批判への対応。

二次線問題及び国鉄再建監理委員会の答申への影響並びに今後の二次線及び分割民営化問題を審議会に諮問するか否かの考え方等（関連して、大平秀雄委員（自民）からローカル線廃止問題に対する道の取り組み姿勢及び道議会に対する考え方について）

柏倉勝雄委員（社会）から、審議会の審議内容、地元の要請の受けとめ方、今後のスケジュール、地元が協議会等において第三セクターによる地元鉄道の運行を主張した場合の対応等

小野秀夫委員（道政）から、道の方針と今後の議会の論議との関連について
質疑及び要望があり、開発調整部長から答弁

○12月18日（火） 午後零時42分、第5委員会室
において開議、午後零時45分
散会
委員長 川口 常人（自民）

一 般 議 事

- ① 山中総務部次長から、第4回定例会追加提出予定案件について説明。
- ② 山中総務部次長から、外務公務員の異動について報告。
- ③ 委員長から札幌市内各警察署における歳末取り締り状況の視察及び激励の実施については、異議なく決定。実施日は、12月20日とし、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○12月22日（土） 午後1時33分、第5委員会室
において開議、午後1時45分
散会
委員長 川口 常人（自民）

付託案件の審査

- 議案第7号（札幌医科大学附属病院使用料条例の一部を改正する条例案）、議案第8号（北海道職員等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案）、議案第9号（北海道行政財産使用料条例の一部を改正する条例案）、議案第14号（風俗営業等取締法施行条例等の一部を改正する条例案）、議案第16号（北海道陸運事務所設置条例を廃止する条例案）及び議案第21号（財産の処分に関する件）を順次議題とし、山中総務部次長、開発調整部長及び警察本部防犯部長からそれぞれ説明の後、いずれも異議なく、原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について

て、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

- ② 委員長から、昭和60年度国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

厚生委員会

○11月5日（月） 午後1時17分、第9委員会室
において開議、午後2時2分
散会
委員長 星野 健三（社会）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内の厚生事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 大橋晃委員（共産）から、(1)健康保険法の改正に関し、結核予防法・精神衛生法による通院医療費の負担割合、健康保険本人の道内における結核・精神病患者の数、負担の公平化及び本人負担の解消について、(2)老人保健法にかかるヘルス事業に関し、国の目標と道老人保健事業計画による市町村の目標、健康診査が国の目標を下回っている実態と原因及び58年度の受診率、訪問指導の58年度実績及び対象者数、道内における保健婦の数、ヘルス事業に必要な保健婦数、在宅老人訪問看護事業の概要、ヘルス事業充実の決意等について
質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。

○12月10日（月） 午前10時50分、第9委員会室
において開議、午前10時57分
散会
委員長 星野 健三（社会）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した泰東丸の実地調査と遺骨収集、軍人軍属恩給欠格者の処遇及び精神障害者福祉法（仮称）の制定に関する中央折衝の概要について報告書により報告。異議なく了承。
- ② 民生部長及び衛生部長から、第4回定例会

提出予定案件について説明。

○12月22日（土） 午後1時24分、第9委員会室
において開議、午後1時35分
散会
委員長 星野 健三（社会）

付託案件の審査

- 議案第11号（北海道心身障害者扶養共済制度条例の一部を改正する条例案）を議題とし、民生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、本委員会に付託されていた陳情第9号（軍人・軍属恩給欠格者の早期救済に関する件）については、付託が取り下げられた旨報告。
- ② 残余の請願、陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ④ 委員長から、児童手当制度の改正に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ⑤ 各種審議会等の委員について、北海道社会福祉審議会委員に西村慎一委員（道政）及び伊藤豪委員（自民）を、北海道献血推進協議会委員に小野寺勇委員（自民）及び大橋晃委員（共産）をそれぞれ推せんすることに決定。
- ⑥ 委員長から、昭和60年度国費予算及び児童手当制度の改正に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

商工労働委員会

○11月5日（月） 午後1時15分、第8委員会室
において開議、午後1時22分
散会
委員長 湯本 芳志（社会）

一 般 議 事

- 委員長から、道外商工労働事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期は11月20日から24日までとし、派遣委員等については委員長に一任することとした。

○12月10日（月） 午前10時22分、第8委員会室
において開議、午前10時54分
散会
委員長 湯本 芳志（社会）

一 般 議 事

- ① 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 商工観光部長から、(1)苫小牧東部工業基地の開発計画に係る環境影響評価について、(2)苫小牧東部開発株式会社の経営改善等について報告。
- ③ 労働部長から、北海道社会労働保険協会の労働保険料の滞納問題について報告の後、
神戸典臣委員（自民）から、道の今後の指導方針と調査結果を当委員会に報告方要望。
- ④ 委員長から、さきに実施した道外調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ⑤ 石川十四夫委員（道政）から、産炭地サミットに関し、当面の対策と将来構想について質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。

○12月22日（土） 午後1時35分、第8委員会室
において開議、午後1時48分
散会
委員長 湯本 芳志（社会）

付託案件の審査

議案第15号（北海道企業局職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案）を議題とし、企業局長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはか

り、異議なく決定。

- ② 委員長から、昭和60年度北海道開発予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 労働部長から、公共職業安定所等の再編整理に関し報告。
- ④ 労働部長から、北海道社会労働保険協会の労働保険料の滞納問題に関し報告。

農 務 委 員 会

○11月5日（月） 午後1時8分、第7委員会室
において開議、午後1時33分
散会
委員長 寺崎 政朝（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した水田利用再編第3期対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 農務部長から、昭和59年度の道営競馬の実績等について報告。
- ③ 青山章委員（自民）から、(1)網走管内の干ばつ被害に関し、天災融資法の適用の見通し、被害の査定状況と道独自の対策に対する見解、(2)減反緩和に関し、転作面積の決定時期の見通し、国への減反緩和について強力な要請方(3)他用途利用米に関し、本年度の他用途利用米の集荷見通し、明年の他用途利用米に対する道の対応等について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○12月10日（月） 午前10時16分、第7委員会室
において開議、午前10時31分
散会
委員長 寺崎 政朝（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した水田利用再編第3期対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 農務部長事務代理者（農務部次長）から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 農務部長事務代理者から、水田利用再編第

3期対策に関し説明の後、
青山章委員（自民）から、転作等目標面積
の支庁別配分の実施時期について
質疑及び要望があり、農務部長事務代理者から
答弁。

○12月22日（土） 午後1時34分、第7委員会室
において開議、午後1時46分
散会
委員長 寺崎 政朝（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、昭和60年度農業関係国費予算
に関する中央折衝の実施についてはかり、異
議なく決定。派遣委員等については委員長に
一任することとした。
- ② 委員長から、付託の請願について、今後付
託されるものも含め、閉会中継続審査の申し
出をすること、及び所管事務について、閉会
中継続調査の申し出をすることをはかり、異
議なく決定。
- ③ 農務部長事務代理者から、昭和60年度の支
庁別転作等目標面積及び事前売渡申込限度数
量の配分等に関し説明の後、
青山章委員（自民）から、十勝管内の転作
等目標面積が昨年より増加している理由につ
いて
質疑があり、農務部長事務代理者から答弁。
- ④ 大野新生委員（道政）から、農業発展方策
における稲作等に関し、もち米の作付けが網
走地方に集中している理由、良質米生産に対
する取り組み方針、地域別の具体的な位置づ
けと指導の必要性等について
質疑、意見及び要望があり、答弁は次回委員
会で行うこととした。

建 設 委 員 会

○11月5日（月） 午後1時20分、第4委員会室
において開議、午後1時25分
散会
委員長 古川 靖晃（自民）

一 般 議 事

- 土木部長から、昭和59年度除雪事業実施計
画の概要について説明。

○12月10日（月） 午前10時33分、第4委員会室
において開議、午前10時45分
散会
委員長 古川 靖晃（自民）

一 般 議 事

- 土木部長及び住宅都市部長から、第4回定
例会提出予定案件について説明。

○12月22日（土） 午後1時33分、第4委員会室
において開議、午後1時42分
散会
委員長 古川 靖晃（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第12号（北海道空港条例の一部を改正
する条例案）、議案第17号（都市公園事業に
伴う地方公共団体の負担金に関する件）、第
18号（北海道道の路線の認定、廃止及び変更
に関する件）及び議案第19号（忠別ダムの建
設に関する基本計画に対する意見の件）を順
次議題とし、土木部長及び住宅都市部長から
説明の後、異議なく原案のとおりいずれも可
決することに決定。付託案件に対する委員長
報告については、委員長に一任することとし
た。

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、
今後付託されるものも含め、閉会中継続審
査の申し出をすること、及び所管事務につ
いて、閉会中継続調査の申し出をすることをは
かり、異議なく決定。
- ② 委員長から、昭和60年度国費予算に関する
中央折衝の実施についてはかり、異議なく決
定。実施時期等については、委員長に一任す
ることとした。

農 地 開 発 委 員 会

○11月5日（月） 午後1時34分、第3委員会室
において開議、午後1時41分
散会
委員長 中川 隆之（道政）

一 般 議 事

- 農地開発部長から、昭和59年農地・農業用
施設災害の被害状況について説明。

○12月10日（月） 午前10時25分、第3委員会室
において開議、午前10時45分
散会
委員長 中川 隆之（道政）

一 般 議 事

- ① 農地開発部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した他県における農業基盤整備事業等の事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 農地開発部長から、江別土地改良区の運営等に係る問題について説明。
- ④ 吉田英治委員（社会）から、国営かんがい排水事業に係る会計検査院の指摘に対する見解、工事遅延の原因と今後の対策、新規事業が抑制された場合の本道の農業基盤整備に与える影響及びこれに対する対策等について質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

○12月22日（土） 午後1時26分、第3委員会室
において開議、午後1時29分
散会
委員長 中川 隆之（道政）

一 般 議 事

- ① 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、昭和60年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

水 産 委 員 会

○11月12日（月） 午後1時15分、第6委員会室
において開議、午後1時27分
散会
委員長 中崎 昭一（自民）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、日朝民間漁業協定に関する報告。
- ② 委員長から、さきに実施した道外水産事情調査の結果について報告書により報告、異議

なく了承。

○12月10日（月） 午前10時24分、第6委員会室
において開議、午前10時43分
散会
委員長 中崎 昭一（自民）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 水産部長から、日ソ地先沖合漁業協定の内容について説明。
- ③ 委員長から、さきに実施した他府県における水産事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ④ 酒井芳秀委員（自民）から、今年度の秋サケの漁獲状況及び前年・平年との比較、前年に比べ漁獲量が減少した原因、親魚の捕獲状況、今年の秋サケの市場価格等について質問があり、水産部長から答弁。

○12月22日（土） 午後1時42分、第6委員会室
において開議、午後1時43分
散会
委員長 中崎 昭一（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願について、今後付託されるものも含め閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、昭和60年度水産関係国費予算に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

文 教 林 務 委 員 会

○11月5日（月） 午後1時23分、第10委員会室
において開議、午後2時17分
散会
委員長 岩田 徳弥（自民）

一 般 議 事

- ① 教育長及び学事課長から、昭和58年度公立及び私立高等学校の中途退学の状況について

報告の後、

木戸浦隆一委員（自民）から、退学者が出ている要因、一学年に退学者が増加していることに対する分析及び指導、今後の対処方、私立高等学校が公立高等学校より退学者の割合が高い理由、指導、非行退学の現状及び対策について

高木繁光委員（自民）から、公立高等学校入学者選抜の面接導入の実施時期及び面接方法について

保格博夫委員（社会）から、全国的にみた北海道の中途退学者の状況、普通科と職業科別の退学状況、中学浪人の把握に伴う今後の作業計画、私学の退学後の状況把握の検討について

中川義雄委員（自民）から、公、私立高等学校退学理由の資料の取り方について
質疑及び要望があり、教育長、高等学校課長及び学事課長から答弁。

- ② 西尾六七委員（自民）から、旭川農業高等学校の改築に関し、校地取得の経過及びめど、設計費の60年度予算化について
質疑及び意見があり、教育長から答弁。

○11月27日（火） 午後1時25分、第10委員会室
において開議、午後2時48分
散会
委員長 岩田 徳弥（自民）

一 般 議 事

- 教育長から、昭和60年度公立高等学校適正配置計画及び公立特殊教育諸学校配置計画について説明の後、

伊藤弘委員（自民）から、(1)私学の欠員問題に関し、公、私立の関係についての基本的な考え方、適正配置計画の策定に当たって、私学との協議の経緯、中学校卒業者の減少期における私学の存立についての考え方、(2)職業教育に関し、時代に即応した学科の導入に対する考え方、中学校の進路指導の現状に対する考え方、職業教育の振興策に対する基本的な考え方、(3)定時制の問題に関し、定時制教育の対策、地域への指導、対応方

菊地芳郎委員（社会）から、間口減の問題に関し、地元との対応、基本的な考え方、中

学校側に対する意見の聞き方について
質疑、要望があり、教育長から答弁。

○12月10日（月） 午前10時21分、第10委員会室
において開議、午前10時27分
散会
委員長 岩田 徳弥（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道外における文教林務事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
② 教育長及び林務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

○12月22日（土） 午後1時33分、第10委員会室
において開議、午後1時42分
散会
委員長 岩田 徳弥（自民）

付託案件の審査

- 議案第13号（北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案）、議案第20号（財産の取得に関する件）及び議案第34号（北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案）を順次議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、公立学校非木造建物（ブロック造）の耐力度測定方法の定式化促進に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
② 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
③ 委員長から、昭和60年度国費予算に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定、実施時期等については、委員長に一任することとした。

特 別 委 員 会

石炭対策特別委員会

○12月22日（土） 午後2時33分、第11委員会室
において開議、午後2時34分
散会

委員長 伊藤 豪（自民）

- ① 委員長から、付託の請願について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、さきに実施した石炭対策に関する中央折衝及び道内調査の概要について、それぞれ報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 商工観光部長から、昭和59年度基準炭価設定にあたっての経過について報告。

北方領土対策特別委員会

○12月10日（月） 午前11時37分、第3委員会室
において開議、午前11時51分
散会

委員長 野村 權作（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した「北方領土返還要求のつどい」出席及び他府県議会に対する決議要請等の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 領対本部長から、昭和59年度北方領土返還促進国連使節団の派遣について報告の後、若狹靖委員（自民）から、国連ソ連代表部に対する要請等について質疑及び要望があり、領対本部長から答弁。
- ③ 領対本部長から、北方領土返還要求中央要請及び国会請願について説明の後、委員長から、本件に関し本委員会から委員を派遣することについてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

公害対策特別委員会

○12月10日（月） 午後2時14分、第2委員会室
において開議、午後2時22分
散会

委員長 佐々木行雄（自民）

- ① 生活環境部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 生活環境部長から、公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定について報告。

○12月22日（土） 午後2時1分、第2委員会室
において開議、午後2時8分
散会

委員長 佐々木行雄（自民）

付託案件の審査

- 議案第10号（水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づく排水基準を定める条例の一部を改正する条例案）を議題とし、生活環境部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

エネルギー問題調査特別委員会

○12月22日（土） 午後2時24分、第11委員会室
において開議、午後2時30分
散会

委員長 宇野 眞平（自民）

- 委員長から、付託の請願について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

予算特別委員会

○12月19日（水） 午後3時36分、第1委員会室
において開議、午後3時44分
散会
委員長 吉田 英治（社会）

正副委員長の互選

- ① 大野忠義臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、木本由孝委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって吉田英治委員（社会）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、関根建二委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって小田部善治委員（自民）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後3時40分休憩、午後3時41分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことをはかり、異議なく決定。
- ④ 各分科会の委員の選任についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○第1分科委員（15人）

大野 新生（道政）	生駒 隆介（自民）
大野 忠義（自民）	木戸浦隆一（自民）
伊藤 武一（公明）	高橋 庸（社会）
谷川 英雅（社会）	湯佐 利夫（自民）
土屋 良三（自民）	松崎 義雄（自民）
青山 正男（自民）	関根 建二（社会）
萩上 元春（社会）	舟山 広治（社会）
若狭 靖（自民）	

○第2分科委員（15人）

伊達 忠一（道政）	今津 寛（自民）
神戸 典臣（自民）	大島 一郎（社会）
大平 盛雄（社会）	檜林 巖（社会）
神本 三也（社会）	綿貫 健輔（自民）
小田部善治（自民）	木本 由孝（自民）
桜井 外治（自民）	佐々木行雄（自民）
宇川 源吉（自民）	柳谷 正一（公明）
笹浪 幸男（自民）	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑨ 本委員会の運営について、正副委員長及び各分科正副委員長をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営すること及び正副委員長の配分のない会派についても理事会に出席願うことについてはかり、異議なく決定。

第1分科会

○12月19日（水） 午後3時47分、第1委員会室
において開議、午後3時55分
散会
第1分科委員長

関根 建二（社会）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に関根建二委員（社会）、分科副委員長に木戸浦隆一委員（自民）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法について協議決定した。

- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、生駒隆介委員（自民）、谷川英雅委員（社会）、大野新生委員（道政）、伊藤武一委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○12月20日（木） 午前10時54分、第1委員会室において開議、午後4時10分散会
第1分科委員長
関根 建二（社会）

① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員（自民）から、

風俗営業等取締法の一部改正及び道条例の一部改正に関し、ゲームセンター、アダルトショップ等風俗関連営業への少年の立入り規制の内容及び周知徹底の方針、客引き（フリーポーター）に対する迷惑防止条例の改正等規制の強化、スナック等のカラオケ騒音に対する対処方、深夜の住宅地域における騒音の規制基準、「接待」の具体的内容とその基準及び警察庁から明確化される時期等について質疑、意見及び要望があり、警察本部長及び防犯部長から答弁があって公安委員会所管に対する質疑を終結。

② 民生部所管に対する質疑に入り、

出村 勝彦委員（自民）から、

- (1) 社会福祉施設の整備に関し、道内の施設設置数と定員、昭和59年度施設整備の状況と各地域からの要望数、特別養護老人ホーム及び精神薄弱者援護施設整備の要望の多い理由、昭和60年度の施設整備の取り組み姿勢、ボランティアを含めた地域と施設とのかかわりに対する考え
- (2) 生活保護に関し、全道の昭和59年度の生活保護費の額、道内の保護動向の推移と全国での順位、道の保護率の高さに対する現状認識と地域差の状況、保護受給中に占める母子世帯の状況、生活保護の実施機関に

対する指導

- (3) 北海道戦没者追悼式に関し、追悼式案内の範囲、式典の内容、「君が代」を斉唱しない理由、式典に参列しない道民への配慮方及び献花の順序、式典の時期を変更する考え等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があって、民生部所管に対する質疑を終結。

③ 衛生部所管に対する質疑に入り、

土屋 良三委員（自民）から、

- (1) 市町村立病院の経営問題に関し、昭和58年度の決算の状況及び数年前との対比、国及び道単独の市町村立病院への助成制度の状況、地域センター病院の状況と制度の見直し、市町村立病院調査結果の概要、他府県の市町村立病院に対する助成状況、市町村立病院に対する基金制度の設置等を含めた経営健全化対策
- (2) がんの予防対策に関し、道内のがんの発生、死亡状況と推移、がん登録事業の内容と罹患の把握、健康マップにおける標準化死亡比の内容、健康マップの道内の特徴、がん相談事業の内容と相談件数、がん検診の実施状況と受診率、がん検診車の台数と価格等について

大橋 晃議員（共産）から、

自治体病院の経営健全化問題に関し、地域センター病院の設置主体別割合、市町村立病院の果たす役割りと道立病院とのかかわり、道立病院の果たすべき役割りと認識、市町村立病院に対する助成の考え、根室市立病院の例に対する助成方策、病院運営実態調査とその後の対応策等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって、衛生部所管に対する質疑を終結。

○12月21日（金） 午前11時、第1委員会室において開議、午後6時8分閉会
第1分科委員長
関根 建二（社会）

① 生活環境部所管に対する質疑に入り、

増井 貞一郎委員（自民）から、

- (1) 湖沼の水質保全対策に関し、湖沼の水質汚濁の状況、天然湖沼と人工湖沼の水質の

実態、湖沼の類型指定の状況と内容、阿寒湖、網走湖、大沼の3湖沼が環境基準を達成していない理由及びこれら湖沼への水質改善対策、3湖沼が類型指定されない理由、合成洗剤の使用の抑制対策、公共用水域における合成洗剤の調査結果、公共下水道の整備状況及び60年度の予算要求額、阿寒湖の下水道事業の状況と地元負担対策、洞爺湖の下水道整備の考え

- (2) 国際青年の年に関し、国際青年年の趣旨及び背景、他府県の取り組み状況、道の取り組みと関係団体に対する対応、道の取り組みと姿勢と関係団体の事業計画、北海道青年憲章策定の考えと北海道青少年憲章との関連、関係団体の事業計画に協力する姿勢等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって、生活環境部及び企業局所管に対する質疑を終結。

- ② 開発調整部所管に対する質疑に入り、
新沼 浩委員（自民）から、

地方交通線問題に関し、地方交通線廃止反対と運交審を尊重しバス転換を認めた矛盾に対する考え、美幸線について地元町村の意向を聴取し第三セクター化しなかった理由、運交審の答申後知事が結論を急いだ理由、運交審の答申による道の責任回避に対する考え、他府県の地交線に対する姿勢と道との違い、道の出資と法的責任、見切り発車した場合の行政的ペナルティーの有無、逸走率と利用乗客数、人件費の道案と地元案の相違、地元の意向尊重の有無、地元との協議を進めたことに対する見解の相違、美幸線のバス転換の可能性及び道路整備に要する期間、美幸線を残すための道の方策の有無等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁があって、開発調整部、各種委員会及び総務部所管に対する質疑を終結。

- ③ 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

第 2 分 科 会

○12月19日（水） 午後3時46分、第2委員会室
において開議、午後3時56分
散会

第2分科委員長

木本 由孝（自民）

正副委員長の互選

- ① 推名推選の方法により、分科委員長に木本由孝委員（自民）、分科副委員長に神本三也委員（社会）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、綿貫健輔委員（自民）、大平盛雄委員（社会）、伊達忠一委員（道政）、柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○12月20日（木） 午前11時15分、第2委員会室
において開議、午後3時42分
散会

第2分科委員長

木本 由孝（自民）

- ① 土木部所管に対する質疑に入り、

小野寺 勇委員（自民）から、

橋梁の劣化対策に関し、道内の国道、道道、市町村道の橋種別実態と鋼橋の現況、道道で通行制限している橋の理由、鋼橋腐食のメカニズム、塗装の重要性と道の塗装仕様、塗り替えと耐用年数の関係、腐食進行等の実態把握、点検の具体的方法、実態調査と台帳整備必要性の考え、過去における塗り替えの実施状況、国との比較における道の塗り替え周期、橋梁塗装の今後の取り組み姿勢、新設橋梁に対する塗装工事の発注方法等について

大橋 見議員（共産）から、

スパイクタイヤと車粉じんに関し、スパイクタイヤ使用自粛指導に関する実施要綱の施行と効果、道の公用車のスパイクタイヤ自粛に対する実践状況、スパイクタイヤの利点と欠点、車粉じん健康影響調査への取り組み状況、スパイクタイヤによる道路の損失額、スタッドレスタイヤの安全性に対する見解、スパイクタイヤ禁止条例制定取り組みの考え等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、土木部、住宅都市部及び農地開発部所管に対する質疑を終結。

② 労働部所管に対する質疑に入り、

佐々木 行雄委員（自民）から、

(1) 中高年齢者の雇用対策に関し、わが国の高齢化の現状と予測についての認識及び対策、企業の定年制導入の現況と道の指導目標、道内企業の定年制延長に対する理解及び定年延長アドバイザー制度の活用状況、中高年齢者の最近の雇用状況、58年度の職業相談体制と実績、中高年齢者対策のための各種援護制度の状況と活用度合、今後の中高齢者対策の方向と重点課題

(2) 職業訓練対策に関し、道内企業の公共職業訓練によせる期待と役割、道職業訓練審議会からの建議内容、道の実施している職業訓練科目と訓練内容、入校率の悪い職業訓練科目の検討の考え、中高年齢者の再就職実態調査の有無、訓練校の施設設備の整備状況及び他府県との比較、指導員の採用と研修面での充実方策、職業訓練校の活性化とイメージチェンジ、第四次北海道職業訓練計画に対する取り組み、本道の下請企業を充実させるための職業訓練指導体制の強化等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって、労働部、農務部及び林務部所管にかかわる質疑を終結。

木本 由孝（自民）

① 水産部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員（自民）から、

「全国豊かな海づくり大会」の開催に関し、この大会の趣旨、これまでの開催場所と60年にサロマ湖で開催することに決まった経緯、大会運営の体制と組織づくり、主な行事内容と北海道にふさわしい行事内容の構想、地元三町の分担する行事内容、記念に残る施設等を作る考え、記録映画、ビデオに集録し記録を残す考え、大会開催を機に本道の特産品を紹介し販路を拡大する必要性等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって、水産部所管に対する質疑を終結。

② 商工観光部所管に対する質疑に入り、

大野 忠義委員（自民）から、

(1) 計量問題に関し、道が行っている計量器検定業務の根拠法令と道の役割、計量にかかわる道の執行体制、計量器の検定・検査の実施方法と合否の状況、不合格計量器の処置、行政監察結果の指摘事項と道の措置状況、プロパンガスメーターの有効期限切れ使用防止対策と代検査制度の推進方策、灯油の計量器検査とメーター空転防止策、生活物資の店舗における量目検査状況

(2) ガス漏れ対策に関し、道内のLPガスの消費数量と消費形態、家庭・業務用LPガスによる事故件数と被害状況、道の事故防止対策、料理飲食店、ホテル等におけるガス漏れ警報器の設置状況と未設置者に対する対策、警報遮断装置促進の考え、LPガスに関連する災害防止の方針等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって、商工観光部所管に対する質疑を終結。

③ 教育委員会所管に対する質疑に入り、

小野寺 勇委員（自民）から、

(1) 職業高校の器材整備に関し、道立職業高校におけるOA機器の整備状況、本年度のOA機器の整備状況と整備に対する認識、今後の整備計画の有無、OA機器の設置基準、リース、レンタル方式導入検討の有無、買い取りとリース方式との経費の比較、未整備校解消の決意

○12月21日（金） 午前11時4分、第2委員会室
において開議、午後4時59分
散会
第2分科委員長

(2) 教職員の研修に関し、教職員の研修に対する認識、研修の種類、研修会が北教組で交渉事項であるとしていることに対する見解、教育課程研修会参加の実態、学校保健研究協議会日高会場の実施状況、管理職の出席数が多いことの所見、保健研究協議会出席への職務命令の有無、教務主任命課の実態と教務主任研修会の概要、教務主任研修会参加への職務命令の是非、職務命令違反職員の対処方針、教職員研修旅費と校内研修促進費の配分、校内研修費の適切な運用への考え、教職員研修施費と校内研修促進費の一括運用に対する検討等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって、教育委員会所管に対する答弁を終結。

- ② 分科委員長から、付託案件に対する審査報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

○12月22日（土） 午後1時5分、第1委員会室
において開議、午後1時14分
閉会

委員長 吉田 英治（社会）

- ① 各分科委員長から、それぞれの分科会における審査の経過について報告。
- ② 委員長から、議案第1号ないし第6号及び第22号ないし第33号は原案可決とすることについてははかり、異議なく決定。ついで木本由孝委員（自民）から、本委員会の審議の経過にかんがみ、国鉄地方交通線問題について附帯意見（委員長報告参照）を委員長報告に挿入されたい旨の動議を提出、賛成があって動議成立し、これをはかり異議なく決定。
- ③ 付託案件に対する委員長報告について、委員長に一任することについてははかり、異議なく決定。
- ④ 委員長から、付託案件の審査終了にあたってあいさつがあった。



全国都道府県議会議長会

○11月7日（水） 富山県宇奈月町において役員会を開催。会長（岩手県議長）のあいさつに引き続き、協議に入り、定例総会の議事順序、日程及び議決事項の処理等について、それぞれ了承して、閉会した。

○11月7日（水） 富山県宇奈月町において第84回定例総会を開催。地元富山県議長、会長（岩手県議長）、富山県知事及び宇奈月町長のあいさつに引き続き、来賓あいさつ、内閣総理大臣のメッセージ、自治大臣の祝辞及び衆参両院議長の祝電披露の後、自治功労者の表彰を行い、国民体育大会開催県議長のあいさつの後、議事に入り、昭和58年度会務及び会計報告、会計監査報告を承認し、次いで、役員会提出の「国庫補助負担率引下げによる地方負担転嫁反対に関する決議」を原案のとおり決定。次いで、各委員長から委員会における提出議案の審議経過と結果について報告。いずれも、原案のとおり決定し、第86回定例総会の開催地を広島県に決定して、閉会した。

（地方制度委員会関係）

- 1 行政改革の推進について
- 2 地方財政の充実強化について
- 3 青少年の健全育成対策について
- 4 警察機動力及び交通安全対策の充実強化について

（社会文教委員会）

- 1 痴呆性老人対策について
- 2 国立病院・療養所の充実について
- 3 食品添加物の規制について
- 4 使用済み乾電池の適正処理の推進について
- 5 湖沼の環境保全対策の推進について
- 6 スパイクタイヤ対策について
- 7 高等学校の新增設に対する国庫補助制度の拡充強化について
- 8 私立学校に対する助成措置の充実について

（商工労働委員会関係）

- 1 中小企業の経営基盤の強化について
- 2 電源地域振興のための特別措置法の制定について

- 3 石油の国家備蓄基地建設推進について

- 4 地熱資源開発の促進について

（建設運輸委員会関係）

- 1 住宅対策の推進について
- 2 道路整備の促進について
- 3 下水道整備の促進について
- 4 治水事業等の推進について
- 5 第4次全国総合開発計画の策定について
- 6 地域振興対策の推進について
- 7 震災対策の推進について
- 8 水資源対策の推進について
- 9 鉄道輸送網の整備と輸送力の強化等について
- 10 地方空港等の整備促進について
- 11 港湾整備事業の促進について

（農林水産委員会関係）

- 1 農業基本政策の強化について
- 2 米穀政策の確立について
- 3 畜産振興対策の強化について
- 4 蚕糸振興対策の推進について
- 5 林業振興対策について
- 6 漁業振興対策について

10都道府県議会議長会（137回）

○11月1日（木） 名古屋市において開催。地元愛知県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、議事に入り、東京都議長から前回議決事項の処理報告の後、次の事項について協議、決定した。次回開催地を京都府に決定の後、全議主幹から、臨時行政調査会答申の推進状況等について説明の後、閉会した。

- 1 地方財政への負担転嫁反対について

（東京都提出）

- 2 国庫補助負担率引き下げ反対について

（神奈川県提出）

- 3 小額貯蓄非課税制度の存続等について

（静岡県提出）

- 4 北方領土の返還について

（京都府提出）

- 5 地方行財政対策について
(大阪府提出)
- 6 元陸海軍従看護婦に対する慰労給付金の改善措置等について (兵庫県提出)
- 7 国庫補助負担率引き下げによる地方負担転嫁反対について (広島県提出)
- 8 国庫補助負担率引き下げによる地方負担転嫁反対について (福岡県提出)
- 9 過大規模校の解消及び「40人学級」計画の早期実現について (愛知県提出)

資 料

第4回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
札幌医科大学附属病院使用料条例の一部を改正する条例	12. 22	12. 26	北海道条例第67号
北海道職員等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第68号
北海道行政財産使用料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第69号
水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づく排水基準を定める条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第70号
北海道心身障害者扶養共済制度条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第71号
北海道立学校設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第72号
風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例	同	同	北海道条例第73号
北海道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第74号
北海道陸運事務所設置条例を廃止する条例	同	同	北海道条例第75号
北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第76号
北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第77号
市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第78号
北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第79号
北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第80号
北海道空港条例の一部を改正する条例	同	3. 25	北海道条例第1号

11 月 の メ モ

- 1 日 ○第2次中曽根改造内閣が発足 再選された中曽根首相は内閣を改造。安部外相、竹下蔵相ら4閣僚は留任、河本経企庁長官は副総理格の沖縄開発庁長官に横すべりし、連立継続の新自公からは山口幹事長が労相に、また、22年ぶりに3人目の女性閣僚が環境庁長官として誕生した。
- 新札を発行 日銀は、1万円、5千円、千円の3種類の新札を全国34の本支店と20の寄託店から一斉に発行した。初日の発行は8,300億円。
- 3 日 ○故ガンジー首相国葬で弔問外交 シーク教徒の警護隊員に暗殺されたガンジー・インド首相の国葬がニューデリーで行われ、中曽根首相ら、世界約100か国の首脳が参列。シュルツ米国务長官、チャーノフ・ソ連首相らが相次いでラジブ・ガンジー新首相と会談した。
- 7 日 ○レーガン大統領再選 米大統領選挙は、共和党現職のレーガン大統領がモンデル民主党候補を大差で破って再選を果たした。
- 富士銀行が為替投機に失敗 富士銀行は、ニューヨーク支店で外国為替投機に失敗し、総額115億円の損失を招いたと発表した。ドル相場の先行き見通しを誤り、先物取引に出たのが裏目に出た。
- 9 日 ○日航幹部ら全員不起訴 57年2月の羽田沖日航機墜落事故で、東京地検は業務上過失致死傷容疑で書類送検された日航の医師、元機長の上司ら6人を「元機長の精神病、ひいては事故の危険は予見できなかった」と不起訴処分にした。
- 11 日 ○高校1年生殺人は同級生の犯行 大阪市北区で2日、大阪産業高校1年蒲沢嘉明君(16)が死体で見つかった事件は、同級生2人の犯行と分かり、殺人容疑で天満署に逮捕された。
- 12 日 ○逗子市長選、緑保護派が勝利 米軍池子弾薬庫跡地への米軍住宅建設の是非が争点となった神奈川県逗子市長選(11日)で、住宅建設に反対する自然保護派の富野暉一郎(40)=無所属=が、前市長を破り初当選。
- 13 日 ○1988年に商業捕鯨から撤退必至 日米捕鯨協議が終了し、わが国は88年以降、沿岸マッコウ捕鯨から撤退することで合意した。同時に米国は、日本が88年度以降商業捕鯨から全面撤退しなければ、米国水域での漁獲に制裁を科すと表明し、日本の撤退も必至となった。
- 14 日 ○五輪水泳選手らが大麻汚染 今夏のロサンゼルス五輪に出場した水泳選手ら4人が渡米中に大麻を吸引したうえ、帰国の際に密輸入し、国内でも吸引していたことが明らかになり、警視庁は大麻取締法違反などで東京地検へ書類送検した。
- 空知地方南部に大雪 11日夜から14日午後まで空知地方南部に降り続いた雪は、3日間の降雪量が、夕張市鹿島地区で151センチに達した。11月中旬としてはこの雪、観測史上の新記録。
- 15 日 ○四全総へ報告書 第4次全国総合開発計画の策定を進めている国土庁は、報告書「日本21世紀への展望」を国土審議会に提出、特色ある都市づくりのために、高速道路や新幹線、ジェット化空港など高速交通網と、情報通信網の整備を優先的に進める必要性を強調。
- 再処理プルトニウム、東海村へ フランスで再処理した核燃料物資プルトニウム約290キロを積んだ貨物船晴新丸が未明、東京港に入港。厳戒態勢の中を、茨城県東海村の動燃東海事業所まで輸送された。
- 16 日 ○地下ケーブル溝火災でオンライン途絶 東京都世田谷区太子堂の世田谷電話局近くの電電公社ケーブル用地下溝から出火、10数時間燃え続けた。145メートル分の通信ケーブルが焼け、世田谷、目黒両区にまたがり89,000回線の電話が不通となったほか、三菱銀行の全国オンライン、大和銀行の首都圏オンラインなど金融機関にも影響が出た。電話ケーブル事

故としてはこれまでの最大規模。

17日 ○北海道社会労働保険協会、多額の雇用保険料滞納 中小事業所から雇用保険などの代行業務を行う労働省認可の北海道社会労働保険協会が、延滞金を含め、約1,500社分、約2億1,000万円に上る雇用保険料を道に納入せず滞納していることが明らかにされた。

19日 ○メキシコでガス爆発事故 メキシコ市北部のメキシコ石油公社（ペメックス）のサンファニコ都市ガス供給センターのガスタンク群が爆発、当局発表では死者は400人を超え、重軽傷は5,000人に上った。

20日 ○減反面積の緩和 農林水産省は、60年度の都道府県別減反面積を決めた。水田の減反面積はすでに全国で本年度より26,000ヘクタール緩和することが決まっているが、そのうち本道への配分は5,150ヘクタール。この結果、本道の転作目標面積は11万1,490ヘクタールとなった。

23日 ○板門店で銃撃事件 南北朝鮮の軍事境界線にある板門店で、ソ連人の南への越境をきっかけに朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）軍と、在韓国連軍の間で銃撃戦が発生。国連軍側発表では、韓国兵1人と北朝鮮兵2人が死亡、米兵1人と北朝鮮兵2人が負傷。

24日 ○北方領土返還促進国連使節団が出発 北方領土返還を国際世論に訴えるため、横路知事を団長とする北方領土返還促進国連使節団が成田空港から出発した。使節団には道内だけではなく新潟県の代表も加わり、ニューヨークの国連本部、各国の国連代表部などを訪れ、北方領土返還への各国の理解と支持を求めた。

27日 ○日銀総裁の後任に澄田智副総裁を起用 政府は12月16日に任期満了で退任する前川春雄日銀総裁の後任に、澄田智副総裁を起用することを決めた。12月14日の閣議で正式決定し、17日に発令する。

30日 ○キャプテン(文字図形情報ネットワーク)がスタート 電電公社のキャプテンサービス提供が首都圏、京阪神地区でスター

トした。キャプテンは電話回線を使って家庭やオフィスのテレビ受像機に生活情報や天気図などのグラフを映し出す新しい情報メディア。

12 月 の メ モ

1 日 ○第 102 通常国会を召集 第 102 通常国会が召集され、会期は来年 4 月 29 日までの 150 日間で、電電改革関連法案や国民年金法改正案などが審議される。

○豪総選挙で労働党勝利 オーストラリア総選挙はホーク首相率いる労働党が下院（148 議席）で過半数を超え勝利したが、上院（76 議席）では過半数に達しなかった。

2 日 ○インドでガス漏れ事故、犠牲者多数 インド中部マドヤプラデシュ州の州都ボパール近郊の殺虫剤製造工場でイソシアン酸メチルと見られる有毒ガスが漏出、死者 2,600 人以上という、世界の化学産業史上で最悪の災害となった。

5 日 ○地方制度調査会が答申 地方制度調査会は、都市計画や農地転用の許認可権限を地方に移譲するよう求めた「地方行財政に関する当面の措置についての答申」をまとめ、首相に提出した。

7 日 ○日ソが新漁業協定 安部外相とパブロフ駐日ソ連大使は、日ソの 200 カイリ水域での漁業の枠組みを定めた新協定に調印した。有効期間は 3 年。

8 日 ○「スパイクタイヤを考えるシンポジウム」開かれる 札幌弁護士会主催の車粉公害追放を目指した「スパイクタイヤを考えるシンポジウム」が、道自治会館で開かれた。市民レベルでのこの種のシンポジウムは全国でも初めて。

9 日 ○原子力空母カールビンソン横須賀に寄港 米海軍の最新鋭原子力空母カールビンソン（81,600 トン）が、神奈川県横須賀港に入港した。同艦の日本寄港は昨年 10 月の佐世保に続くものだが、首都圏の寄港は初めて。

○クウェート機乗っ取り事件解決 機内で米国人乗客 2 人が射殺されたクウェート航空機乗っ取り事件は、イランの治安部隊がテヘラン・メヘラバード空港に着陸中

の同機を急襲して残っていた人質 7 人を解放、シーア派イスラム系のアラブ過激派とみられる犯人 4 人を逮捕し、140 時間ぶりに解決。

10 日 ○英、ユネスコ脱退を正式通告 英国はパリのユネスコ本部に「改革がなされない限り、85 年末に脱退する」と正式通告。

11 日 ●第 4 回定例道議会開会

12 日 ○ボルノ税関検査は合憲 ボルノ雑誌などに対する税関検査は、憲法が禁止している検閲に当たり違憲として書籍輸入会社などが起こしていた「ボルノ税関検査訴訟」上告審で、最高裁大法廷は「税関規制は思想審査、規制を目的としていないため検閲に当たらず、合憲」と上告を棄却する判決を言い渡した。

14 日 ○多摩川の鉄橋崩落で死者 5 人 東京都大田区の大摩川にかかる旧六郷橋で、解体作業中の鉄橋（重さ 536 トン）が崩れ落ち、下請け作業員 5 人が死亡、13 人が重軽傷。

15 日 ○ゴルバチョフ氏が訪英 ソ連共産党のゴルバチョフ政治局員兼書記が訪英、サッチャー英首相、ハウ外相らと会談、この中で来年行われる米ソ外相会談でソ連は宇宙軍縮を最優先課題とすることを明らかにした。

17 日 ○大韓機撃墜事件で集団提訴 昨年 9 月、ソ連のサハリン（樺太）上空でソ連軍機に撃墜された大韓航空機の日本人乗客 28 人のうち、7 人の遺族 15 人が、大韓航空会社を相手取り、計 9 億 1,000 万円余の損害賠償を求める訴訟を東京地裁に起こした。同事故をめぐる日本人遺族の集団提訴は初めて。

19 日 ○香港返還で正式調印 香港の主権を 1997 年に中国に返還することを決めた「香港問題に関する中英共同声明」の正式調印が北京を訪問したサッチャー英首相と趙紫陽・中国首相によって行われた。

20 日 ○来年度の経済は 4.6 % 成長 政府は来年度の経済成長率を実質 4.6 %、名目 6.1 % とすることを内定した。

○消費者米価 3.7 % 値上げ 米価審議会は

コメの政府売り渡し価格を、政府の諮問通り3.7%引き上げる答申をまとめた。来年2月25日から実施される。

- 「千歳川放水路」、東ルートに絞る 自然保護との絡みで論議を呼んでいる「千歳川放水路」について、道開発庁、建設省の関係者は、3本の候補ルートのうち「東ルート」に絞って来年度、環境アセスメントを含めた具体的調査に乗り出すことで合意した。

21日 ○上信電鉄、正面衝突で129人死傷 群馬県下仁田町の同電鉄単線区間で、電車同士が正面衝突、運転士1人が死亡、乗っていた通勤通学客のほとんどが負傷した。運転士の居眠り運転による赤信号の見落としが原因。

- ウスチノフ・ソ連国防相死去 ソ連は、ウチノフ国防相・共産党政治局員(76)が、肺炎、腹部動脈りゅう破裂の合併症で20日午後7時35分死亡し、葬儀委員長はロマノフ政治局員・書記に決定したと発表。

22日 ●第4回定例道議会閉会

23日 ○米英首脳、米ソ外相会談を前に協議 レーガン米大統領とサッチャー英首相が会談、米国のスターウォーズ(宇宙防衛)構想について、研究は進めるが、実際の配備の前にソ連と交渉するなど4項目で合意した。

24日 ○イタリアで特急に爆弾テロ イタリア北部の国鉄幹線トンネル内で特急列車が爆破され、少なくとも17人が死亡、120人近くが負傷した。

- 美濃部亮吉氏が死去 前東京都知事で参議院議員の美濃部氏が心筋こうそくのため自宅で死去。

- 来年度予算の大蔵原案内示 大蔵省が内示した来年度の一般会計予算大蔵原案は総額52兆4,996億円で前年度当初予算比3.7%増、財政投融资計画は同20兆7,135億円で同1.9%減。

25日 ○日ソ漁業委員会が中断 相互200カイリ内における来年の漁獲割当量などを決める日ソ漁業委員会は、双方の主張に開き

が大きくいったん中断。来年1月中は、今年並みとする暫定協定を結んだ。

28日 ○函館ドックの新会社「函館どっく」がスタート 来島どっくグループ傘下で再建が本格的に始まった。同グループ入りは函館市や経済界が強く望んでいただけない、再建にかける地元の期待は強い。

- 整備新幹線を一部着工へ 自民党は、競合する在来線の廃止を前提に、東北(盛岡～青森)、北陸(東京～富山～大阪)の両整備新幹線一部着工に踏み切る方針を決定(26日)。これを受け、来年度予算案編成の党4役折衝で建設費など128億円の計上を決めた。

29日 ○政府予算案決まる 政府は臨時閣議で、一般会計を前年度当初比3.7%増の52兆4,996億円とする60年度予算の政府案を決定した。

- 行革の実施方針決定 政府は臨時閣議で、60年度に取り組む行政改革について、「行政改革の推進に関する当面の実施方針」を決めた。

31日 ○牛場信彦氏死亡 駐米大使、対外経済相として日米関係の確立に尽力した牛場信彦氏(75)が死去した。

- インド総選挙で与党が圧勝 インド下院第8回総選挙は、昨年10月に暗殺された故ガンジー首相の長男ラジブ氏の率いる与党ガンジー派国民会議派が圧勝、ラジブ首相が勝利宣言をした(29日)。同首相は新内閣を組織。

北海道議会時報 昭和59年第5号

昭和60年3月25日発行（通巻第36巻第5号）

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第36巻第5号（昭和59年第4回定例会）